

SDG RACING INFORMATION

全日本ロードレース選手権 第5戦 モビリティリゾートもてぎ

【JSB1000・ST1000 レースレポート】

8月29日（土曜日） 天候：雨 コースコンディション：ウェット

8月30日（日曜日） 天候：くもり コースコンディション：ドライ

2026年度全日本ロードレース選手権の第5戦が栃木県モビリティリゾートもてぎで開催された。8月29日、JSB1000では水野涼選手（SDG DUCATI Team KAGAYAMA）が公式予選とセカンドベストでポールポジションを獲得。決勝レース1は2周目で3番手に後退したが、5周目で再びトップに立った。その後は主導権を握り、後続に7秒近い差をつけてトップチェッカーを受けた。ST1000の名越哲平選手（SDG Team HARC-PRO.Honda）は決勝レース1は4番グリッドからスタート。5番手で最終ラップを迎えたが、最終コーナーでアクシデントがあり3位でチェッカーを受けた。

8月30日はJSB1000、ST1000ともに決勝レース2が開催された。JSB1000の國井勇輝選手（SDG Team HARC-PRO.Honda）はフロントロウ2番手グリッドからスタートし、序盤は5番手を走行したが中盤以降にペースを上げ、13周目に3番手に浮上。そのままチェッカーを受けて3位表彰台を獲得した。ポールポジションからスタートした水野涼選手は2周目に2番手となったが、中盤以降はトップとの接近戦を繰り広げた。最終ラップでは抜きつ抜かれつの攻防を繰り広げて、0秒100差でチェッカーを受けた。水野選手はこの2連勝で開幕戦から通算7連勝を記録。海外メーカー車両による初の年間チャンピオン獲得が現実味を帯びてきた。

なお、SDG社員ライダーである中島陽向（SYNSHURe:N with TOTEC）は29日予選中の転倒により骨折し決勝は欠場となった。

次戦は9月26・27日に岡山国際サーキットで開催予定。



#88 SDG DUCATI Team KAGAYAMA
JSB1000 水野涼
予選:1位 セカンドベスト:1位
決勝レース1: 優勝 決勝レース2: 優勝



#92 SDG Team HARC-PRO.Honda
JSB1000 國井勇輝
予選:3位 セカンドベスト:2位
決勝レース1: 4位 決勝レース2: 3位



#44 SANMEI Team TARO PLUSONE with SDG
JSB1000 関口太郎
予選:12位 セカンドベスト: 11位
決勝レース1:10位 決勝レース2: 10位



#26 SYNSHURe:N with TOTEC
JSB1000 中島陽向
予選:14位 セカンドベスト: 17位
決勝レース1:DNS 決勝レース2: DNS



#56 SDG Team HARC-PRO.Honda
ST1000 名越哲平
予選:4位 セカンドベスト: 4位
決勝レース1: 3位 決勝レース2: 6位

SNS ACCOUNT @SdgMSOfficial

@sdgrider

SDG Co., Ltd.

SDG

SDG RACING INFORMATION

全日本ロードレース選手権 第5戦 モビリティリゾートもてぎ

【ST600・J-GP3・J-SPORT レースレポート】

8月29日（土曜日） 天候：雨 コースコンディション：ウェット

8月30日（日曜日） 天候：くもり コースコンディション：ドライ

8月29日、ST600は公式予選のみが行われ、小田喜阿門選手（SDG Team HARC-PRO.Honda）はウェット路面に苦戦して20番手。一方、青田魁選手（SDG Team HARC-PRO.Honda）は自己最高位グリッドとなる5番手につけた。J-GP3の富樫虎太郎選手（SDG Jr.56RACING）は公式予選終盤は7番手あたりを走行していたが、ライバル勢もタイムアップし、最終的には10番手となった。また、この日はMFJカップJP-SPORT選手権第4戦の公式予選と決勝レースが行われた。赤間清選手（SDG N-Plan Racing）は予選16番手。市原一優選手（SDG N-Plan Racing）はウェット路面に苦戦して21番手だった。決勝レースで市原選手は好スタートを切って16番手に浮上。レース終盤はさらに順位を上げて総合11位でチェッカーを受けた。赤間選手は序盤にペースが上がらず総合13位でチェッカーを受けた。

8月30日、ST600の決勝で20番グリッドからスタートした小田喜選手は、大集団の中をポジションアップに成功して8位でゴール。5番手からスタートした青田選手はオープニングラップで大きく順位を落として13位でチェッカーを受けた。J-GP3の決勝で富樫選手は10番手から好スタートを決め、1周目に4番手まで浮上。最終ラップでは3選手の接近戦となり、V字コーナーで2番手にポジションアップ。そのままチェッカーを受けて2位表彰台を獲得した。

次戦は9月26・27日に岡山国際サーキットで開催予定。



#10 SDG Team HARC-PRO.Honda
ST600 小田喜阿門
予選:20位 決勝:8位



#13 SDG Team HARC-PRO.Honda
ST600 青田魁
予選:5位 決勝:13位



#56 SDG Jr.56RACING
J-GP3 富樫虎太郎
予選:10位 決勝:2位



#71 SDG N-PLAN Racing
JP-SPORT 赤間清
予選:16位
決勝:総合13位 クラス5位



#25 SDG N-PLAN Racing
JP-SPORT 市原一優
予選:21位
決勝:総合11位 クラス7位

SNS ACCOUNT @SdgMSOfficial @sdgrider

SDG Co., Ltd.

SDG